



あぐり情報 Aguri Information

営農生活課
石井華奈

野菜の新品種と イタリア野菜のご紹介

今月のあぐり情報では、秋冬播きの新品種と、直売向けにイタリア野菜についてご紹介します。

■2024年新品種について

◎ハクサイ

「黄づつみ」シリーズ(タキイ種苗)
従来品種の黄ごころや晴黄、きらぼしなどに改良を加えた品種で、黄づつみには栽培期間の異なる3種類があります。

▼品種共通特性

①形状安定、収穫適期幅が広い
高温や多肥条件下でもスムーズに結球するため、玉形状がよくそろいます。また、過剰肥大や収穫適期に達してからも玉形状のくずれが発生しにくいため、在圃性

に優れ、計画的な出荷が図れます。

②生理障害の発生が少ない
カルシウム欠乏症(縁腐れ、芯腐れ)やゴマ症、芯割れなど各種生理障害の発生が少なく、在圃期間が長くても安定した出荷できます。

③根こぶ病耐病性

従来品種よりもさらに高い根こぶ病耐病性があります。

▼黄づつみ78



黄づつみ78
出典：タキイ種苗(株)

・黄化病耐病、細菌性病害に強い
黄化病の耐病性品種が少ない中、黄づつみ78はハクサイ品種の中でも安定した耐病性があります。

さらに、黒斑細菌病などの細菌性病害にも比較的強く、安心して栽培できます。

・晩秋〜年内どり中早生種

黄づつみ78は、秋どりの中早生種の中では耐寒性に優れるため、中間地の11月下旬以降の収穫でも

■イタリア野菜

直売所などでもまだ出荷が少なく珍しい品種を調理法もあわせてご紹介いたします。

○エルバステラ

(トキタ種苗)



エルバステラ
出典：トキタ種苗(株)

▼品種特性

寒さには強いですが、暑さに弱い品種です。窒素成分が少なくても十分生育するため、低肥料で生育可能です。大株に成長すると脇芽が発達するので長く収穫できます。

▼適作型

中間地で3月上旬〜5月上旬まき↓4月〜6月収穫、9月上旬〜11月上旬まき↓10月〜12月収穫です。

▼調理法

食感サクサクしています。生のままサラダにしたり、鍋や炒め物にも合います。

外葉の退色や凍霜害の発生が少なく在圃性に優れます。結球葉は濃緑、球内は濃黄色です。

・適作型

中間地で8月中下旬まき↓11月中旬〜12月中旬収穫です。

▼黄づつみ90、黄づつみ95

・耐寒性と晩抽性に優れる
冬どり中晩生種の黄づつみ90、

晩生種の黄づつみ95ともに外葉は濃緑色、葉は肉厚で耐寒性に優れ、厳寒期でも玉の傷みや退色が少ないため安定出荷が可能です。

また、抽苔が遅いため、中間地、暖地での3月中旬出荷にも対応できます。

・黄づつみ90適作型

中間地で8月下旬〜9月上旬まき↓12月中旬〜2月収穫です。



黄づつみ90
出典：タキイ種苗(株)

・黄づつみ95適作型
中間地で8月下旬まき↓1月中旬〜3月中下旬収穫になります。



黄づつみ95
出典：タキイ種苗(株)

▼病害の防除

黄づつみシリーズは、根こぶ病の耐病性はありますが、べと病の耐病性レベルは低く、発生も確認されています。越冬収穫では、結束する直前に治療効果の高い殺菌剤を散布しましょう。また、圃場の排水性の確保など総合的な防除も心掛けましょう。

◎ホウレンソウ

「スパイダーデューク」(トキタ種苗)
秋冬どりホウレンソウの新品種です。

▼品種特性

①低温伸長性
低温伸長性があり耐寒性に優れたF1品種です。厳寒期でも生育が停滞しにくいいため、越冬栽培に

○カリノケールCG

(トキタ種苗)



カリノケールCG
出典：トキタ種苗(株)

▼品種特性

カリノケールのシリーズの中で、厳寒期でも葉が柔らかく、低温伸長性の品種です。高温乾燥下だと生育スピードが落ちブルームが強く出ます。

▼適作型

中間地で7月中旬〜8月中旬まき↓10月上旬〜3月収穫となります。

▼調理法

苦みや青臭さが少ないため、生のままサラダや炒め物にも向きます。

○サラダ・ラティーナ

(トキタ種苗)



ラティーナ
出典：トキタ種苗(株)

▼品種特性

日本で育種したカブですが、ローマの南方に位置するラティーナ県で栽培が広がった品種です。小かぶ収穫を基本とします。

▼適作型

中間地で9月中旬まき↓11月下旬収穫となります。

▼調理法

肉質は緻密で柔らかく、甘味も強いいためスライスしてサラダ、ピクルスに合います。グリルにも向きます。



スパイダーデューク
出典：トキタ種苗(株)

▼適作型
中間地露地では9月中旬〜10月下旬まき↓10月下旬〜3月上旬収穫と、2月下旬まき↓4月中旬下旬収穫になります。